

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名 ウルトラ・ベンド	投球者 徳江 和則	センター 平和島スターボウル
-------------------------	---------------------	--------------------------

LV3.0/LV5.0/LV7.0

RG 2.502	ΔRG 0.040
--------------------	---------------------

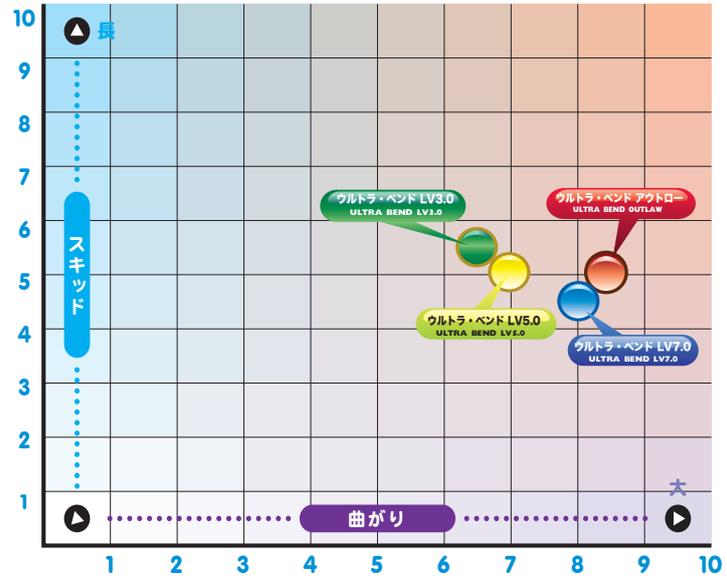
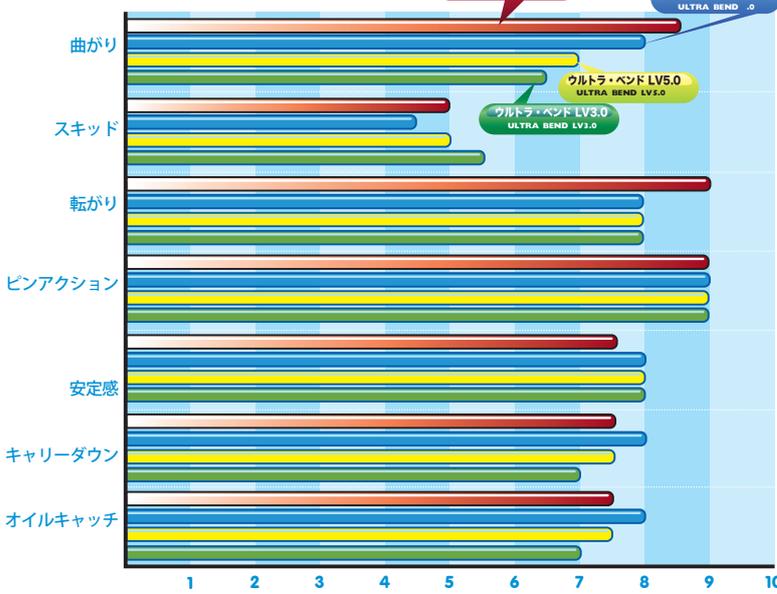
OUTLAW RG 2.431	ΔRG 0.108
------------------------------	---------------------



比較対照ボール：ウルトラ・ベンド	
フレア幅 インチ PAPからピンとの距離 4 インチ	表面加工 <input checked="" type="checkbox"/> 箱出し状態 <input type="checkbox"/> 加工 <input type="checkbox"/> ペーパー <input type="checkbox"/> ポリッシュ 番 研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



レールコンディション	バックエンドリアクション	レンジス
Light Oil, Light to Medium, Medium Oil, Medium to Heavy, Heavy Oil	Smooth, Smooth to Arc, Arc, Arc to Sharp, Sharp Angle	Early Roll, Early to Med, Med-Lane, Med to Late, Late Roll

ボールの評価

ナノデスシリーズを輩出し、日本唯一のボール生産拠点として世界のトップをも見据える日本エポナイト社。ナノデスシリーズで標準装備とされているNano-Thaneは次世代カバーストックと認識され、その性能は多くのボウラーに支持されています。今回ABSボール開発チームは膨大なテストデータをもとに日本エポナイト社の協力を得て、あらたに新配合カバーストックを作り上げました。その名は「Reacthane(リアクタン)」。このたびNew Standard Modelとして発売する「Ultra Bend」はただ単に過去に発売した複製版ではなく、全く新しい斬新なコンセプトを打ち出します。LV7.0、LV5.0、LV3.0と3種類に分けられたモデルはBattle Coreを搭載して、レベル毎に配合の違うカバーでリアクション特性を変化させます。そして今回特別仕様で作られる「Outlaw」モデルは、USBC未承認ですがRG2.43、ΔRG0.10という規格外の数値で搭載されており、最大の転がり感と史上最大のフレア幅を生み出す設計です。通常のボールとくらべ、回転数が増えたと錯覚する転がり感と極限のフレア幅で大きな曲がりを体感することができます。

そして新配合のカバーストックはナノデスに搭載されているNano-Thane技術をリアクティブ素材にも取り入れ、Reacthaneとして誕生しました。柔軟性の高い素材でオイルゾーンのキャッチ力・ドライゾーンの反応の良さは今までの国産リアクティブにおいて最高レベルまで引き上げられています。Ultra Bendはレベル毎にキャッチが異なる為、よりキャッチを求める方はLV7.0を。更なる走りを求めるならばLV3.0を選んでください。そして規格外な曲がりを楽しみたい方はOutlawを選んで頂き、ボールの曲がる楽しさを味わってください。Outlawモデルのリーグや大会の使用に関しては、大会開催のセンターにお問い合わせください。

特記事項

New Standard Modelとして発売されるUltra Bendは新開発コア2種類に加え、4種類のカバーストックを搭載。カバーストックのレベルがボールのサブタイトルになっており、投球スタイルとコンディションにあわせて選択が可能です。